

平成27年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

小 論 文

(生物資源科学部 地域環境科学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は5枚、下書き用紙は2枚である。指示があってから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

次の課題1、課題2の両方に解答しなさい。なお、解答を必ず課題ごとに指定された解答用紙の所定のところに記入すること。

下書き用紙は解答の下書き、アイデアのメモ、レイアウト、文章の構成等、裏面を含めて自由に用いてかまいません。ただし下書き用紙も提出すること。

課題1

次の文章を読んで、課題1-1と課題1-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典：村上道夫，永井孝志，小野恭子，岸本充生 著 「基準値のからくり」2014，講談社

課題1-1

食の安全性について著者の考えを200字以内で説明しなさい。

課題1-2

食の安全性について話題になった食品、あるいは個人的に不安に思っている食品をひとつあげて、その食品を規制すべきであるかどうかについてあなたの考えを600字以内で説明しなさい。

課題2

あなたの思い描く「地域環境科学科」について、中学生向けのパンフレットを解答用紙に作りなさい。解答用紙の原稿用紙部分に600字以内で学科を説明する文章を書き、2ページ目の図記入スペースに図を記入しなさい。図は複数でもかまいませんし、図中に簡単な説明文があってもかまいませんが、図などがスペースからはみ出してはいけません。

なお、漢字や用語などの使用については、中等教育以下の範囲にとどめる必要はありません。